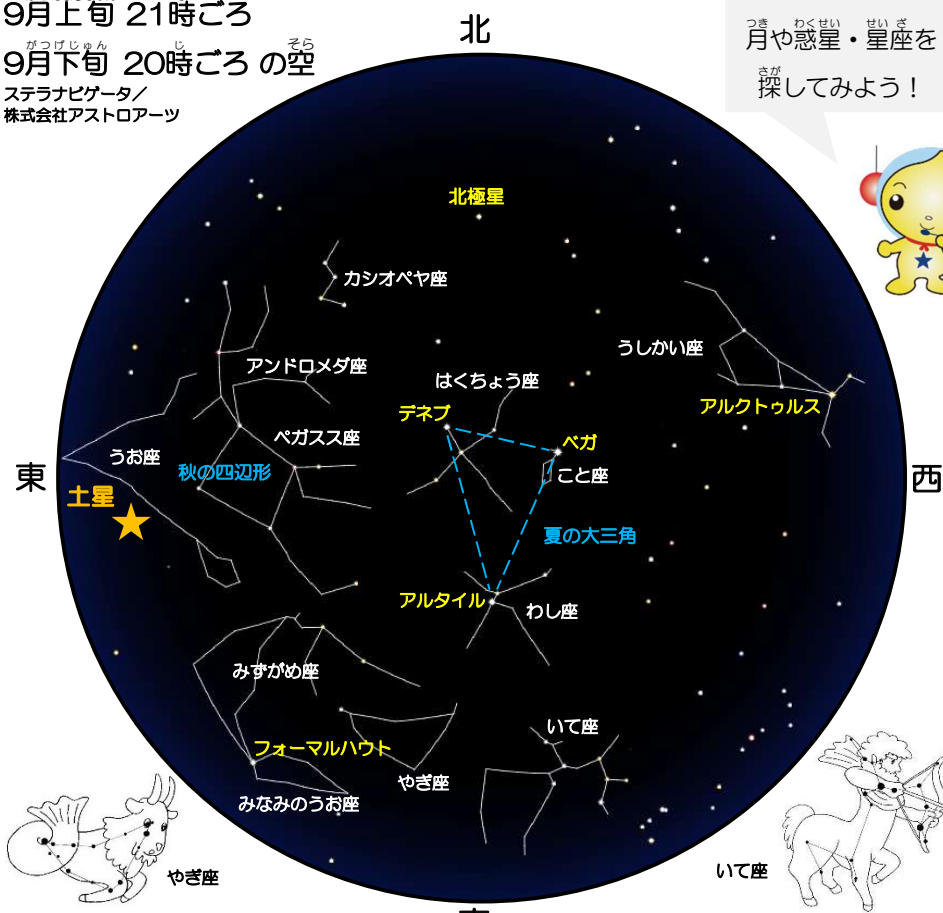


月刊 星空の散歩道 9月号

2026年

9月上旬 21時ごろ
9月下旬 20時ごろの空
ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ



つき わくせい せいざ
月や惑星・星座を
さが探してみよう！



9月の星空

★宵空の主な星座と明るい星★

西の空に春の星座、天頂に夏の星座、東の空に秋の星座が見えています。

- < 西 > うしかい座 (アルクトゥルス)
- < 天頂 > こと座 (ベガ)、はくちょう座 (デネブ)、わし座 (アルタイル)
- < 南 > みなみのうお座 (フォーマルハウト)
- < 東 > ペガスス座、アンドロメダ座
- < 北 > 北極星、カシオペア座

☆天文トピック☆

9月14日 月と金星が並び
日没後、西の空低くで細い月と明るい金星が
近づいて見えます。

9月23日 秋分
太陽が秋分点 (天の赤道と黄道の交点) を
通過する日。

9月25日 中秋の名月 (お月見)
旧暦8月15日に見える月のこと。
ススキを飾り、月に見立てた団子や芋を供え
て、農作物の収穫をお祝いします。

☆月の形の変化☆

9月4日 下弦
9月11日 新月
9月19日 上弦
9月27日 満月

☆9月の惑星☆

金星…日没後、西の空
土星…真夜中、南の空
火星…明け方、東の空

<天文コラム> クレーター「Saheki」

月を望遠鏡で見ると、複雑な地形を観察することができます。中でも目を引くものが、大小さまざまなクレーターです。隕石などの衝突によってできたもので、月では大気や風雨による浸食がないため、長い年月を経ても、その姿が残されています。これらの地形には名前があり、国際天文学連合 (IAU) が管理しています。

かつて月の表側に「Saheki (サヘキ)」という名前を持つクレーターがありました。これは、大阪市立電気科学館の職員として、アジアで初めて設置されたプラネタリウム「カールツァイス社製Ⅱ型」の操作にも携わり、火星観測の第一人者でもあった佐伯恒夫さんの功績を称えたものでした。その後、IAUによる名称整理で「グリマルディB」となりましたが、現在、「Saheki」という名前は火星のクレーターに付けられています。

佐伯さんは伊丹市にお住まいだったご縁から、当館の開館後、数年間にわたりプラネタリウム解説者の指導にも携わりました。今夜は月を眺めながら、そんな人と月とのつながりを感じてみませんか？

グリマルディクレーター



撮影：熊森照明

伊丹市立こども文化科学館 発行日 2026年8月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

